

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
 【部門区分】第 1 部門第 2 区分
 【発行日】平成27年9月10日 (2015.9.10)

【公開番号】特開2014-18528(P2014-18528A)
 【公開日】平成26年2月3日 (2014.2.3)
 【年通号数】公開・登録公報2014-006
 【出願番号】特願2012-161871(P2012-161871)
 【国際特許分類】

A 6 3 F 7/02 (2006.01)

【F I】

A 6 3 F 7/02 3 0 4 D

A 6 3 F 7/02 3 5 2 F

【手続補正書】

【提出日】平成27年7月17日 (2015.7.17)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

残額を記憶したプリペイド媒体を挿入 / 排出可能で、遊技者により挿入された前記プリペイド媒体の残額にもとづき貸し球の払い出しに係る制御を実行する一方、所定の操作に応じて前記プリペイド媒体を排出して遊技者に返却する球貸機と電氣的に接続されているとともに、

報音手段と、遊技に係る動作及び前記報音手段による報音動作を制御する制御装置とを備えており、所定条件が充足されると、賞品媒体を遊技者に払い出す遊技者にとって有利な特別遊技状態が生起する遊技機であって、

前記制御装置は、前記プリペイド媒体の返却忘れについて注意喚起する注意喚起報音パターンを記憶しており、所定のタイミングで所定の報音時間にわたり前記注意喚起報音パターンを前記報音手段から報音させるとともに、前記報音時間中は、前記遊技に係る報音パターンの出力音量を前記注意喚起報音パターンの出力音量よりも相対的に小さく調整することを特徴とする遊技機。

【請求項 2】

遊技者が操作可能で、当該操作を前記制御装置により検知可能な入力手段を備えており、

前記制御装置は、前記報音時間中に前記入力手段の操作を検知すると、前記注意喚起報音パターンの出力を停止することを特徴とする請求項 1 に記載の遊技機。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 0 6

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 0 6】

上記目的を達成するために、本発明のうち請求項 1 に記載の発明は、残額を記憶したプリペイド媒体を挿入 / 排出可能で、遊技者により挿入された前記プリペイド媒体の残額にもとづき貸し球の払い出しに係る制御を実行する一方、所定の操作に応じて前記プリペイド媒体を排出して遊技者に返却する球貸機と電氣的に接続されているとともに、報音手段

と、遊技に係る動作及び前記報音手段による報音動作を制御する制御装置とを備えており、所定条件が充足されると、賞品媒体を遊技者に払い出す遊技者にとって有利な特別遊技状態が生起する遊技機であって、前記制御装置は、前記プリペイド媒体の返却忘れについて注意喚起する注意喚起報音パターンを記憶しており、所定のタイミングで所定の報音時間にわたり前記注意喚起報音パターンを前記報音手段から報音させるとともに、前記報音時間中は、前記遊技に係る報音パターンの出力音量を前記注意喚起報音パターンの出力音量よりも相対的に小さく調整することを特徴とする。

請求項 2 に記載の発明は、請求項 1 に記載の発明において、遊技者が操作可能で、当該操作を前記制御装置により検知可能な入力手段を備えており、前記制御装置は、前記報音時間中に前記入力手段の操作を検知すると、前記注意喚起報音パターンの出力を停止することを特徴とする。